

年頭のご挨拶

クロマトグラフィー科学会会長
大塚 浩二

クロマトグラフィー科学会会員の皆様、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

クロマトグラフィー科学会は昨年（2014年）学会設立25周年を迎え、同年12月の科学会議は「25周年記念大会」として国内はもとより海外からも招待講演者を迎え盛大に開催されました。第21回シンポジウム（2014年6月・名古屋）とあわせ、本会主催の学術会議が盛会裡に終了したことは誠に喜ばしく、ひとえに会員の皆様のサポートの賜と厚くお礼申し上げます。

昨年は本学会にとって大きな変革の年であったと言えます。本学会の主要行事の一つである会誌（CHROMATOGRAPHY）の編集発行について、通常号を年間3号、学術会議要旨集を年間2号発行するという形態は維持しつつ、その印刷形態をオフセット印刷に変更し発行経費の大幅削減を達成しました。また、論文誌としてのプレゼンスを高めてより多くの論文投稿を獲得し、国際的にも認知され得る存在価値の高い論文誌へと成長させるべく、掲載論文へのDOI付与並びにJ-STAGEへの掲載を実現致しました。特にJ-STAGEにおいては、掲載受理が決定した論文を直ちにWeb上で公開する早期公開にも対応しており、手前味噌ではありますが、一流論文誌への仲間入りのための編集体制が着々と確立しつつあると言っても過言ではありません。これらの改革は、編集委員長・浜瀬健司理事、副編集委員長・齊戸美弘事務局長をはじめとする編集委員各位の多大な努力の成果として結実したものであることを強調させていただきたいと思います。今後さらに同誌に対するインパクトファクター（IF）の取得を目指しており、ここ数年以内でのIF付与実現を期待しております。本学会会員の皆様におかれては、このような取り組みにご理解いただくとともに、IF取得を現実のものとするべくCHROMATOGRAPHY誌への積極的なご投稿をお願い致します。

このような学会誌編集方針の改革に並行する形で、学術会議要旨集の編集発行についても改革を実施することと致しました。従来から本会主催の学術会議（シンポジウム、科学会議）の講演要旨集はCHROMATOGRAPHY Supplement号として発行し、各演題の要旨は2ページを標準として、学会開催に先立って全会員に発送しておりました。これは本会が誇る会員サービスの一環であったことは事実ですが、一方で発行経費の増大や編集時間の逼迫を招く要因でもありました。これについて理事会で慎重に検討した結果、要旨は1演題1ページを原則としてページ数の削減を図るとともに、全会員に対する事前送本を取り止め、学会参加者にのみ学会会場において配布するよう変更致しました。これは会員サービスの低下とも受け取られかねませんが、要旨集編集作業の効率化と経費節減によってより質の高い情報の配信が可能になると期待され、ひいては会員サービスの向上にも結びつくものです。本来学会の講演要旨集は当該学会参加者のみが享受しうる情報であることをご確認いただき、この変更にご理解いただきたく存じます。なお、この要旨集発行方針の変更については、2014年12月の本会総会において承認されておりますことを申し添えます。

昨年の年頭挨拶においても述べました通り、本学会は歴代の会長・執行部の優れたイニシアティブの下、会員の皆様のたゆまぬ努力とご協力によって発展してきたことは言うまでもありません。その基本路線を忠実に踏襲しつつ、幅広い研究分野との融合・協力関係の強化を図り、本学会のプレゼンスを一層高めることを目標に、微力ながら本学会のさらなる発展のために本年も努力する所存でございます。皆様のご理解とご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます。